

令和3年度 第2回坂井市地域公共交通会議

日 時：令和4年2月21日（月）13：30～14：30

場 所：坂井市役所 災害対策本部室

出席者 浅沼会長  
住民代表：坂野委員、渡辺委員、阿津川委員、野村委員、古川委員、  
小林委員、内藤委員  
関係機関：下平委員、堤委員（代理：粕谷氏）、山室委員、鈴木委員、  
若栗委員、吉川委員、関委員、島田委員  
事業者：佐々木委員、長谷川委員、矢部委員、吉田委員  
関係部署：千秋委員、八杉委員、林委員、中田委員 計24名  
欠席者 男女共同参画ネットワーク正藤委員、DMO さかい観光局本村委員  
事務局 総合政策部 西部長 公共交通対策課 渡邊主査、竜田

1. 開会

委員出席状況・会議成立を報告

2. 会長あいさつ

浅沼会長より挨拶

3. 協議事項

(1) 通学対応に伴う路線バスの見直しについて

<京福バス> 資料1-1、1-2に沿って説明

<会 長>

説明した件について、質問、意見はありませんか。

1点私から。高柳線は廃止になって1本の時間は無くなるようですが、その  
辺は学校は認識しているというか大丈夫なんでしょうか。

<京福バス>

その点は学校と協議済みということで大丈夫です。

<会 長>

では、路線バスの見直しについて資料1-1と1-2について承認いただける  
方、挙手願います。

【挙手全員につき承認】

(2) コミュニティバス運行内容の一部変更について

<事務局> 資料 2-1、2-2、2-3 に沿って説明

<会 長>

説明した件 3 点について、質問、意見はありませんか。

<島田委員> (交通労働組合)

2-1 の三国坂井ルートの運行変更についてですが、これは今すでにこのように運行しておりますが。これが継続するということによろしいでしょうか。もう 1 点、運行ルートですが鋭角に曲がっている部分。これはこのようなルートではないと思いますが、誤りということによろしいですか。

<事務局>

すみません。ルートに関しては誤りです。そのまま直進が正しいものです。申し訳ありません。

運行時刻については、現在は影響を見るためにすでにやっているもので、この結果を踏まえて正式に変更するのが 4 月 1 日ということです。

<会 長>

資料 2-1 のルートが違うんですね。

<事務局>

はい。南北に走っているように書かれている赤い線のルート部分が違っております。ここがないものとしてお願いします。

<林委員> (建設部)

2 点間こうと思ったのですが、1 点は今の質問と同じですので。もう 1 点は資料 2-2 に関して、地元からの要望だと思いますが、変更後のルートでは幅員がかなり狭いと思うのですが運行上大丈夫でしょうか。ケイカン交通さんとの協議は整っているということによろしいでしょうか。

<事務局>

このルートを走る車両は、9 人乗りのワゴン車タイプになりますので問題ないものと確認しております。

<林委員>

6m程度の道だと思いますが、ワゴン車であれば大丈夫ですね。わかりました。

<会 長>

では、コミュニティバスの運行見直しについて、3点ございますが承認いただける方、挙手願います。

【挙手全員につき承認】

#### 4. 報告事項

坂井市オンデマンド型交通実証実験経過について

<事務局>資料 3-1、3-2 に沿って説明

<会 長>

ただいまのデマンドに関する報告について質問などありませんか。利用登録者へのアンケートということで、340名の方に送付していますが、これは電話予約利用の方なんですよね。登録者は477名とのことなのでその差分の人がスマホ利用で登録している数と思えばいいんですね。

<事務局>

そうです。

<堤委員（代理：粕谷氏）>（県交通まちづくり課）

このような積極的な取組を坂井市さんでは行っているということで大変ありがたいことと思っております。そのうえで3点ほどお聞きしたいのですが、スマートフォンの予約状況について、感覚的で結構です。多いと感じてますか。少ないと感じていますか。また、来年度以降、継続とおっしゃいましたが、これは4月1日からということでしょうか。それから、エリアの拡大ということもおっしゃいましたが、他の公共交通機関への影響、圧迫などその辺の調整はどのようにする予定でしょうか。

<事務局>

スマートフォンの予約状況は20～25%くらいでしょうか。乗車利用はやはり高齢者の方が多いと予想していましたのでその割には多いかなという印

象です。実際にスマホで予約する方の利用状況を見てみますと、中学生の方の予約を家の人が行うとか、高校生本人が予約するということもあってこちらとしては予想より高かったといった印象です。

実証実験については、穴をあけず4月1日から運行を継続したいと思っております。

3点目については、コミュニティバスは交通空白地を埋めるために運行していると言うのが大前提なわけですが、民間の事業者さんが運行しているエリアと被ることで影響を与えてはいけないと言うことは重々承知しています。その中で、本日出席いただいているタクシー協会さまとは今後の運行について協議を続けており、4月1日にすべてを変えるのではなく、少しずつ変えつつ影響を見ながら、お互いにとってwin winになるような形にしていきたいと思っております。

<関委員> 社会福祉協議会

コミュニティバスに関してですが、丸岡高校、三国高校へ行かれる学生さんが結構使用されていると思いますが、スクールバスと比較してなんですか、木部地区ではスクールバスについては子供さんのいる家庭だけじゃなく、地区の全員が負担をしているわけです。コミュニティバスは乗る方がすべて負担するのでしょうか。1回100円でも往復200円、月にして4~5千円かかるわけですよね。それはすべて個人が負担しているのでしょうか。

<事務局>

そうです。

<関委員>

コミバスとスクールバスは違うかもしれませんが、木部地区では区民全員が負担しているので。どうかなと思ひまして。

それから、コミュニティバス私も使ってみないとなと思ひまして、駅まで行ってそこからJRで福井に行きまして帰りもその逆で帰ってきました。お酒も入ってましたし便利だと思ひました。降りるときに、100円でいいんですね？と聞いたら65歳からですよと言われた。若く見えたのかもしれない

いからまあいいんですが、高齢者パスとかそういうものは考えてないのですか。

あと、学生さんも安くするために同じようなパスポートがないのかをお聞きしたい。

<事務局>

まず、1点目は路線バスのことかなと思いますので2点目からお答えします。高齢者パスというものはなくて、自己申告と言いますか、65歳以上ですと言っていただければ100円で乗っていただけます。学生も、回数券というものは現時点ございませんが、要望はいただいたことがございますので、いずれ導入できないか検討はしていきたいと思います。

<事務局>

スクールバスの料金の件ですが、木部地区では地区の皆さんの熱い思いがありまして、区としてスクールバスを出そうということで運行しておりますが、他ではあくまでも保護者負担という中でスクールバスや路線バスの運行をしております。

<会 長>

スマホの予約の方もいるということで、スマホ利用者の方にアンケート実施とかはできないものでしょうか。

<事務局>

アプリに改修を加えまして、アンケートもとれるようなものになるという話も聞いております。それが出来るようになれば、スマホ利用者からも意見を聴取したいと思います。

<会 長>

今後は、スマホを活用した生活、スマホを使って便利な生活になるという流れだと思うんですね。だから、スマホを使う方の意見も聞いてほしい。ほかにご質問ないですか。

<長谷川委員>バス協会

オンデマンドについて、それぞれの地区で200名程度の登録者がいるとの

ことですが、それに対して月平均の利用者が磯部で43人、春江東部で23人。コミュニティバスの接続ルートと同じくらいか少しは多いとのことですが、1日の利用者数として考えた時はちょっと少ないんじゃないかなという感じがします。利用者400人に対しての今の利用者数、これを伸ばしていくための考えがありましたら教えていただきたい。

<事務局>

今考えておりますのは、とにかく乗っていただくことが重要、1回乗って便利だとわかればその後の利用につながるのではないかと思います。ですから、例えば1回は無料で乗れるような施策をおこなうとか。この辺は事業者さんとはまだ何も協議していない内容になりますので、今後、お互いに地域の交通を守るという立場は同じですので、よりよくするためにということで協議していきたいと思っています。

<矢部委員> タクシー協会

アンケートの結果について、スマホ保有なんかは磯部と春江東では差があったのでしょうか。それから、アンケート結果を踏まえて今後実験を継続するというお話で、実際のオペレーターやドライバーありでの乗り方教室をしたいというお話もありましたが、コロナで今はそういった事も難しい時期にあって出来ていませんが、その辺、事業者としてぜひご協力したいと思っています。よろしくお願いします。

## 5. その他

<会 長>

他ないでしょうか。では、事務局何かないですか。

<事務局>

特にありません。

<会 長>

委員の皆さま、何かありませんか。

無いようですので、私から一言お願いします。この3月で退職になるもので、この地域交通会議も今日が最後と言うことになります。坂井市になって

からということで15年くらい経つでしょうか。坂井市にとっては交通計画を立てると言うことも大切ですから、私はそこにも携わってこの交通会議の方もやらせてもらっています。同じような会議は他の自治体にもあるわけですが、坂井市は委員の数も多いですね。それだけ大きな市と言うことですが。事務局もいろいろな方に代わっていきまして、自分だけが残っていましたが。定年を機に、降りさせてもらうことになったわけです。これからは、もっと若い方も入ってきてもらって、地域の移動手段を考えてもらう。移動手段があることが、地域が活性化していくことになると思います。活性化の見える形になると思う。こういう議論の中に若い人、また留学生なんかも入ってもらって、車を使えない人と言うのは必ずいますから。そういう人たちに議論を深めて欲しいなと思います。県内、コミュニティバスはどこでもやっていますが、坂井市は少しずつでも利用者が増えてきている成功例だと思います。そういう例はあまりない。始めて3、4年は増えてもそのあとがダメになるのが多い。引き続き、国、県、地域の人みんなに頑張っていたきたいと思います。長い間ありがとうございました。事務局へお返しします。

## 6. 閉会

<事務局>

ありがとうございました。ここで総合政策部長よりひと言申し上げます。

<西部長>

ひと言、お礼を申し上げます。

会長におかれましては、坂井市合併から当会議の会長はじめ、坂井市の各種委員会などでも重責を担っていただいております。長年にわたるご功績とご苦勞に対し心より感謝をいたします。これまで浅沼会長が築いてこられたものを受け継ぎ、坂井市の交通行政の発展を目指して参ります。会長、本当にありがとうございました。

<事務局>

委員のみなさまにおかれましても、円滑な進行にご協力をいただきありがとうございました。以上をもちまして、令和3年度 第2回 坂井市 地域公共交通会議を閉会とさせていただきます。お気をつけてお帰りください。